

第105回全国高校野球選手権青森大会

きょう決勝



第105回全国高校野球選手権青森大会は昨日(26日)弘前市はるか郊外で決勝が行われ、甲府出陣を懸けて奮闘するのは工大一と八学光星の2校の8戸対決で、昨夏は八学光星が615で接戦を制した。一方、今春の青森大会決勝は、工大一が八学光星を下して優勝している。工大一が13年ぶりに冠に立つのか、八学光星の苦闘か。早法戦を前に、両チームは各自、それぞれの練習場で調整し、上々の仕上がりを示した。

工大一は午前9時から約3時間、弘前南高野球グラウンドで時間を充した。強打の八学光星を想定し、守備に重点を置いて捕球や連携を入念に確認。機動力や機動力の機をハンクにも時間を割いた。4番の村上剛大は「自分の一打でチームを勢い上げられるよう一球一球アタックしたい」と気取った。

八学光星は、同グラウンドで午前8時半から約3時間の練習。守備の連携を確認。打撃練習では次々と快音を響かせて調子の良さをおかされた。準決勝で青森山田を完封した左腕の洗平は「チームを勢い上げるミッションを自分のテーマにしていた。任された場面はしっかりとセロで迎えたい」と意気込んだ。

春の県大会で優勝した工大一は、今大会の第1ラウンドとして順当に勝ち上がった。八学光星は県第2代表で臨んだ青森大会で14大会ぶりの頂点に立った。投打にハイレベルな両チームの戦いに注目が集まる。決勝は午後1時試合開始。

あと一つ 工大一、光星闘志

〈個人成績〉 工大一

背番号	選手名	打数	安打	打率	本塁打	塁打	四死	盗塁	三振
1	金岡 光希②	11	2	.182	0	0	0	0	1
2	藤原 天斗③	10	5	.500	0	0	0	0	0
3	齋藤 雄太③	12	3	.250	0	0	0	0	1
4	山田 皇樹③	14	3	.214	0	0	0	0	2
5	中田 皇樹③	15	2	.133	0	0	0	0	0
6	長谷地 颯③	13	6	.462	0	0	0	0	0
7	今野 龍太②	14	6	.429	0	0	0	0	1
8	杉山 賢③	7	3	.429	4	1	1	0	0
9	巖倉 虎太郎③	1	1	1.000	1	0	0	0	0
10	齋藤 颯③	1	1	1.000	1	0	0	0	0
11	齋藤 颯③	1	1	1.000	1	0	0	0	0
12	坂下 颯③	1	1	1.000	1	0	0	0	0
13	山本 一太③	1	1	1.000	1	0	0	0	0
14	坂下 颯③	1	1	1.000	1	0	0	0	0
15	村上 剛大②	1	1	1.000	1	0	0	0	0
16	白石 秀登③	1	1	1.000	1	0	0	0	0
17	中村 拳太③	1	1	1.000	1	0	0	0	0
18	松村 秀一朗③	1	1	1.000	1	0	0	0	0
19	市川 伊織③	15	8	.533	5	0	0	0	1
20	山田 颯之介②	0	0	0.000	0	0	0	0	0

〈個人成績〉 八学光星

背番号	選手名	打数	安打	打率	本塁打	塁打	四死	盗塁	三振
1	岡本 瑛典②	2	0	.000	0	0	0	0	1
2	藤原 天斗③	16	8	.500	11	2	0	0	0
3	齋藤 雄太③	11	3	.273	1	0	0	0	1
4	西尾 太晴③	11	3	.273	1	0	0	0	1
5	酒田 健斗③	16	6	.375	5	1	0	0	1
6	中野 恒貴③	16	8	.500	8	2	0	0	1
7	青木 颯仁②	5	0	.000	0	0	0	0	2
8	砂子田 颯士②	13	9	.692	4	0	0	0	0
9	長谷 隆輝③	14	4	.286	4	0	0	0	2
10	洗平 比呂②	4	0	.000	0	0	0	0	3
11	越智 現介③	2	2	1.000	0	0	0	0	0
12	前井 達太③	0	0	.000	0	0	0	0	0
13	齋藤 雄太③	3	0	.000	0	0	0	0	1
14	鈴木 崇③	5	2	.400	1	0	0	0	1
15	増田 颯史③	0	0	.000	0	0	0	0	0
16	大川 颯海③	0	0	.000	0	0	0	0	0
17	中澤 輝太③	3	2	.667	4	0	0	0	0
18	畑垣 紫③	0	0	.000	0	0	0	0	0
19	辻 隆之介③	1	0	.000	0	0	0	0	0
20	川島 愛樹③	0	0	.000	0	0	0	0	0

〈投手成績〉

学校	投手	左右	試合	打者	投球	奪三振	失点	盗塁
工大一	金岡 光希	左	22	83	17	28	4	5
工大一	白石 秀登	右	6	25	2	6	4	1
工大一	岡本 瑛典	右	3	16	2	0	5	2
八学光星	岡本 瑛典	左	8	43	12	14	3	7
八学光星	洗平 比呂	左	16	66	14	19	4	1
八学光星	越智 現介	左	4	13	0	10	1	0
八学光星	畑垣 紫	右	2	3	0	1	0	0

〈2校のチーム成績〉

学校	試合	勝	敗	分	打	失	得点
工大一	4	4	0	0	122	4	122
八学光星	4	0	4	0	47	119	4
青森県1-1 工大一	40	1	0	0	1	0	1
青森県2-1 八学光星	1	0	1	0	0	0	0
3回戦	0	0	0	0	0	0	0
工大一-10 八学光星	5	2	1	1	11	8	11
5回戦	351	打	383	(5回コールド)			
準決勝	20	打	38	(7回コールド)			
工大一-2 八学光星	7	3	17	弘前東4-11 八学光星			
準決勝	19	打	26	(7回コールド)			
決勝	14	打	6				
弘前東3-6 工大一	1	5	5	八学光星5-0 青森山田			
4失点	2	失	2				
2失点	30	失	35				
33総得点	8	失	9				



集中してバント練習に取り組む工大一ナイン=26日、弘前南高野球グラウンド



打撃練習で好調ぶりをうかがわせる八学光星ナイン=26日、八戸市の同校グラウンド

しぶとく1点もぎ取る

工大一・長谷川龍輝監督 八学光星は投打で力強いチームだ。チャレンジャー精神で食らい付く。守備で乱れることがないようにしたい。最少失点で接戦に持ち込んで、しぶとく1点をもぎ取りに行く。工大一らしく、元気に前向きな野球を披露したい。

自分たちの野球 全力で

工大一・長谷地龍主将 一つ一つのプレーを大事にする。劣勢の場面もあると思うが、自分たちの野球を全力でやり切って最後まで笑顔で諦めずに戦う。チームは昨夏のリベンジに燃えている。全員がそれぞれの役割を果たし、13年ぶりの優勝を実現させたい。

見どころ

金岡光希の再来が懸念される。投球回を上回る28三振を奪い、四死球4と制球も安定。完投した球から中白で勝負が

機動力の工大一か 強力打線の光星か

2年連続の8戸対決となる決勝。互いに選手や戦術をよく知るだけに、指揮官の采配にも注目。

春の悔しさぶつけた

八学光星・仲井宗基監督 チーム状態はいい。気持ちが切れた時点で負けだと思ふ。何とか甲子園の舞台に立つため、もう一度しっかり引き締めて臨みたい。相手はしっかりとしたアタカンス力があるチーム。春に敗れた悔しさをぶつけたい。

やるべきことをやる

八学光星・中澤恒貴主将 大会前には昨年の主将から100件以上の励ましのメッセージをもらったと思うが、慌てずにアウトを一つずつ取っていきたい。いつも通りやるべきことをやれば、おのずと良い結果がついてくるはず。

心配されるものの、継投策も視野に入れて強力打線を抑えたい

八学光星は4試合で6本塁打を放つなど打線の破壊力が抜群。相手を上回る3割8分5厘の打率を誇る。中澤恒貴、藤原天斗ら一塁のある主軸の勝負強さが際立つ。7割近い打率のトップバッター・砂子田颯士が活躍して好機を広げ、チームを勢い付けたい。

取材 杉本 悠